

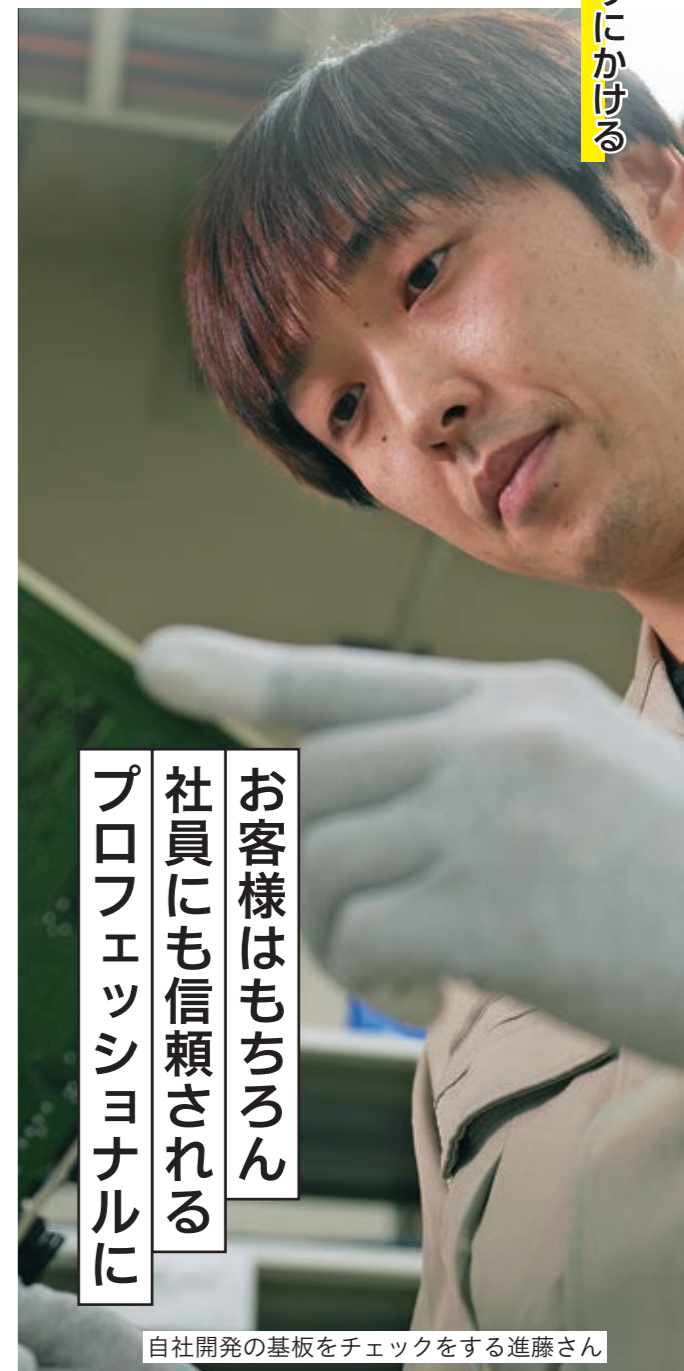
CASE 02

通研電気工業株式会社 (仙台市)

生産本部 品質保証部

進藤 悠さん (30歳)

Shindo Yu



自社開発の基板をチェックをする進藤さん

日々、新鮮な気持ちで仕事に取り組み責任を持ってやり遂げることが大切

通研電気工業株式会社は、1946年に東北大学電気通信研究所の研究成果を製品化することを目的として創業しました。1956年に東北電力グループの一員となり、東北6県及び新潟を拠点に、電気を安全に届けるために必要な情報伝達装置や遠隔監視制御装置などの製品を生産しています。研究開発、設計、製造、工事、保守、ソフトウェア開発の一貫体制でサービスを提供する総合エレクトロニクス企業です。入社13年目の進藤さんは品質保証部に所属し、工場で行われた製品の検査・調整試験を行っています。主にダムや河川の安定運用を支える水門の制御関連装置を担当です。

は話します。検査をクリアして出荷をすれば終わりではありません。出荷した製品が設置されると、現地に直接行って調整確認を行います。進藤さんは「水門に不具合が生じてしまうと、人の命に関わる重大事故に繋がりがかねません。プレッシャーはありますが、責任を持って仕事をしています」と言います。

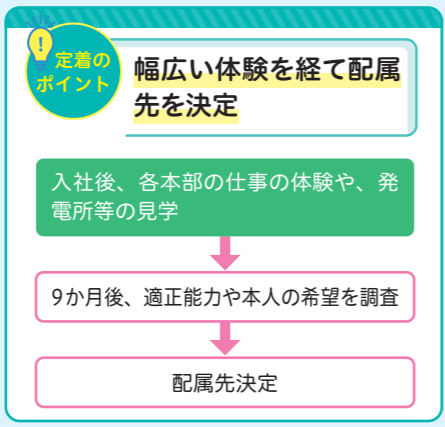
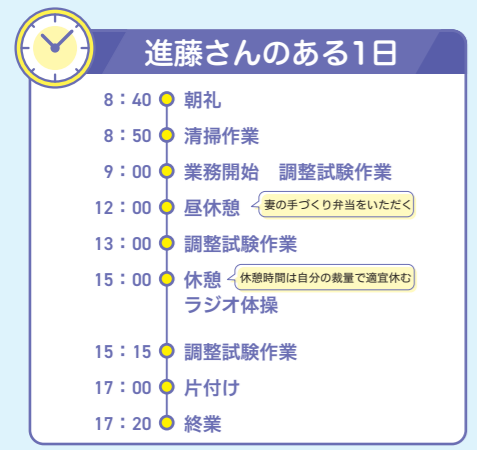
今の仕事は天職 努力するほど確かな自信につながる

進藤さんは高校時代電気科で、情報・電子関係を専攻しました。電気関係や工事関係に就職したいと、新卒で同社に入社し、ずっと品質保証部に所属しています。入社した時は、何をやっているのかも分からない状況でしたが、徐々に仕事の流れや装置のことが分かるようになり、現在は、自分が今、何をしているのかが明確に見えるようになり、責任感が一層強くなったと言います。「今の仕事は天職だと思って楽しく取り組んでいます」と、うれしそうに話す進藤さん。

普段心がけていることを聞くと、「当たり前のことかもしれませんが、知らないことや分からないことがあったら、そのままにしないことです。自分の場合は、まずは自力で調べることを大切にしています。もちろん、上司や先輩に相談もしますが、自分で努力すると、それが知識となり自信につながります。一つひとつの作業を自分の考えで進めていけることに、やりがいを感じているそうです。

知識と技術を磨き、品質保証のプロフェッショナルを目指す

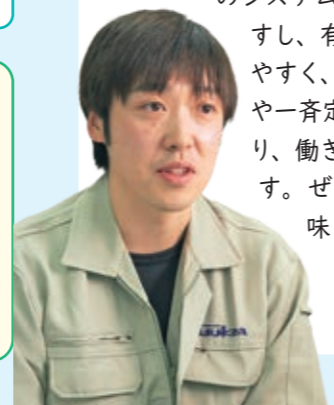
同社では、2022年7月にソリューション推進事業部を設立し、2023年7月には仙台市青葉区本町に新オフィス「DX推進室」を開設しました。対話型生成AIを活用した業務効率化、3Dモデリングによる現場のデジタル化、クラウドを活用したアプリケーションの開発、IoTセンシングなど、新たな事業展開を推進しています。そのような中で、新しい技術が使われた自社製品がどんどん開発されていきます。進藤さんが所属する品質保証部でも、常に新しい知識を身につけていかなければなりません。「自分が担当する装置に関して、誰がどんなことを聞いてきても、何でも答えられるプロフェッショナルを目指したいと思っています」と今後の目標を語ってくれました。



先輩へメッセージ

天職と思える仕事を見つけましょう

当社は様々な分野の業務があるので、やりたいことはもちろん、自分に向いている仕事が見つかると思います。ワークフローシステムや自社の点検支援システムなど、作業効率化のシステムが整っていますし、有給休暇も取りやすく、ノー残業デーや一斉定時退社日もあり、働きやすい環境です。ぜひ、当社に興味を持っていたら嬉しいです。



独自の取組で子育てサポートはもとより社員の働き方改革を推進

子育てサポート企業として「くるみん認定」を取得。また、ワークライフバランスに積極的に取り組んでいる企業として「女性のチカラを活かす企業」も認証されています。一斉有給休暇取得の設定、DX推進による業務効率化など、働き方改革を実践しています。今後は在宅勤務制度の適用範囲の拡大、フレックスタイム制度の導入を検討し、さらなる働きやすさを推進します。

オフショット

平日はじっくり子どもと向き合う時間が少ないため、休日は子どもとたっぷり遊びます。土日は家でゲームをしたり、ショッピングモールに行ったりしています。UFOキャッチャーをよくせがまれますが、なかなか成功しません(笑)



採用担当者の声



経営企画本部 総務G主任 大渡 拓哉さん

人々の暮らしを支え、豊かな未来を一緒に作りましょう

当社では、「人」が会社の最も重要な財産だと考えています。物事に素直に耳を傾け吸収できる人、幅広い世代とコミュニケーションが取れる人、チームワークを大切にしながらリーダーシップを発揮できる人を求めています。また、当社はワークライフバランスがとれてこそ、仕事の成果も上がるものと考え、各種福利

厚生制度の充実を図っています。有給休暇を取得しやすい環境づくりはもちろん、子の看護休暇、介護休暇、育児時短勤務、ノー残業デー、半日・時間休暇制度など、一人ひとりに合った働きやすい環境も整えています。随時、会社説明会・工場見学を設けておりますので、ご興味のある方はご連絡お待ちしております。



会社概要 通研電気工業株式会社 本社・工場 〒981-3206 仙台市泉区明通3-9 (泉パークタウン工業流通団地内) TEL 022-377-2800 (代) URL https://www.2ken.co.jp 代表取締役社長 菅野 秀幸 創業 1946年11月 従業員数 444人 (2023年3月1日現在)

仕事 図鑑

CASE 03

NECプラットフォームズ株式会社
白石事業所（白石市）
生産技術本部 白石生産技術部
齋藤 元さん（29歳）
Saito Gen



ロボットのティーチング



自動化設備の設計図作成



自動化設備のメンテナンスチェック



現場視点と経営視点を持ち 高品質なものづくりを 追求する技術者に



困りごとの相談にのる齋藤さん

**高品質で効率的な生産を支えるため
設備設計から保守までトータルに担当**

**現場の意見を取り入れ
生産しやすい環境に整えていく**

NECプラットフォームズ株式会社は、NECグループの開発・生産・販売を担う新会社として発足。事業所は14か所、営業拠点は23か所と全国に拠点があり、ハードウェア機器の開発・生産から、IoTとネットワークを融合したシステムの提供、IoT・AIを活用した新たなソリューションの創出まで、幅広いICTプラットフォームを提供。白石事業所では、IP多機能電話機などのネットワーク通信機器やPOSシステムなどの業務用端末の自動化設備、ロボット、IoTの導入により生産変動に合わせてタイムリーに提供しています。

小さい頃から、木を組み立ててものをつくるなど、自分で考えて何かを形にすることが好きだったという齋藤さん。山形の大学で電子電気工学を専攻し、超伝導について研究する中、教授に同社を教えてもらったそう。白石事業所の工場見学に行った際、案内の方が、自分のつくった設備を誇らしげに説明していたのが印象的で、自分もこんな風に働きたいと思ったのが入社の一因です。齋藤さんが働いてみて感じたのは「風通しの良さ」だと言います。「白石事業所は何百人も社員がいるのに、部署の垣根を超えてコミュニケーションを取っていて、プライベートでも年齢に関係なく仲がいいんです。そんな風通しの良さが働きやすさに繋がっています」と話します。

同社で生産している製品は、電話機やコンビニエンスストアのレジ、飲食店のオーダー端末など、日常で目にする機会が多くあり、自分の仕事は社会の役に立っていると感じるといいます。齋藤さん、一番のやりがいは「現場の課題や問題を解決した時、現場スタッフにありがとうと言っていた瞬間」だと言います。現場の生産体制を分析し、課題を発見して改善・解決していくのも生産技術の仕事です。現場スタッフの要望を聞いて改善することもあり、「生産技術は、現場スタッフがお客さんみたいな側面もあります。スタッフの喜ぶ顔が見られるのも、生産技術という職種の魅力ですね」。

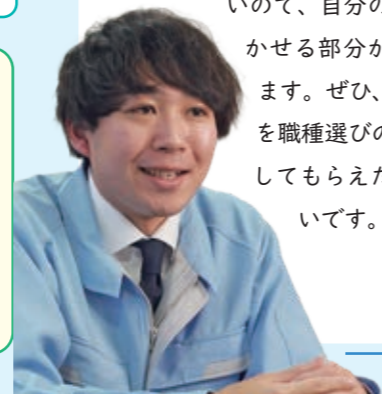
**今後は経営目線も学ぶことで
幅広い知識と技術を持つ
技術者を目指す**

齋藤さんは、入社してから設備開発グループ、検査技術グループと2つの部署を経験したことで、技術者として目指す方向性が定まってきたと言います。「ひとつのことを突き詰めていくよりも、常に新しいチャレンジをして様々な技術を習得したいと思っています。そのため、色々な部署を経験したいです。何をやるにも、物事の全体を分かっていると、本当にいいものはつくれないと思います。特に必要なのは、経営的な目線です。会社である以上、いいものをつくるだけでなく、利益を出さなければなりません。経営目線で物事を判断できる技術者になりたいです」と目標を話してくれました。

先輩へメッセージ

生産技術の魅力を知ってほしい

生産技術という職種は馴染みがないかもしれませんが、開発と製造現場を繋ぎ、ものづくりの根幹を支える大事な役割があります。当社は工場見学を行っていますので、生産技術の魅力に触れてみてください。業務の範囲が広いので、自分の強みが活かせる部分必ずあります。ぜひ、生産技術を職種選びの選択肢にしてみてください。



1 定着のポイント 自ら考え、自らキャリアを築く研修制度

内定者研修

入社

4月 全社共通研修
5月 職種別研修
6月以降 OJT（上司・先輩が約2年間バックアップ）
※配属のタイミングは職種により異なる

LinkedIn ラーニング

自ら必要なスキル、知識を考え「いつでも」「どこでも」「なんでも」学べるオンデマンド研修環境を用意

スキルアップ

キャリアごとに挑戦を支援する研修が進行
社員の能力を最大限に引き出す研修を用意
職種別研修/共通スキル研修/グローバル研修/選抜研修など

齋藤さんのある1日

8:30 朝礼

8:40 設計業務

60分程度の会議が午前・午後
に各1回あることが多い

12:00 昼休憩

ほぼ社食。他の事業所から「白石の社食が1番美味しい」と評判!

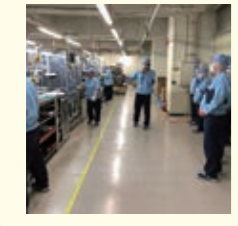
13:00 設計業務

現場から連絡があれば速やかに対応

17:15 終業

自社を知ることモチベーションアップに繋げる

厚生労働省の「プラチナくるみん」取得や働き方改革の推進はもとより、白石事業所独自の取組として「白石事業所をもっと知るプロジェクト」を2023年2月から開始。月に約1回、10名程度で工場案内を実施しています。担当以外の生産ラインを見ることで、他部署との意見交換や改善案のアイデアが活発に出るなど、モチベーションアップに繋がっています。



会社概要



NECプラットフォームズ株式会社 白石事業所

所在地 〒989-0294 白石市旭町6-1

TEL 0224-25-1211

URL <https://www.necplatforms.co.jp>

代表 代表取締役 執行役員社長 河村 厚男

創業 1918年2月

従業員数 7,001名（2023年3月末現在）、白石事業所369人（2023年4月現在）

オフショット

趣味はソフトダーツ。休みの日はダーツバーで練習したり大会に出たり、本気で取り組んでいます！平日は、仲間と飲みに行くこともありますし、来月は会社のみんで温泉旅行を予定しています。年齢差や部署の垣根を超えて仲がいいのは当社の魅力です。



採用担当者の声



人事総務部
生産拠点人事総務グループ
白石・米沢人事総務グループ
佐藤 祐奈さん

「できたらすごい」未来と一緒に考え、創りましょう

当社はNECグループの一員として、グループ共通の指針「Code of Values（行動基準）」があります。「視線は外向き、未来を見通すように」「思考はシンプル、戦略を示せるように」「心は情熱的、自らやり遂げるように」「行動はスピード、チャンスを逃さぬように」「組織はオープン、全員が成長できるように」

を常に念頭におきながら仕事に取り組んでおり、これらが当社の求める人物像でもあります。NECグループは「できたらすごいを社会に創る」をテーマに、ICTの技術を活用して、お客様に様々な価値を届けています。ぜひ、私たちと一緒に日本、そして世界に誇る製品やサービスを一緒に提供していただきたいです。